

# 芸術開発！！ 縄文ストラップづくり テキスト

縄文時代（約 12000 年前～ 2400 年前）といえば、縄文土器や土偶はとくに有名ですね。でも、この時代の人たちは、それだけでなく、さまざまなものにすばらしいデザインを取り入れてます。「あれ？こんなものまで縄文時代にあったの？」と思うくらい、デザインのほとんどがこの時代に生まれ、そのデザインは世界的にも有名です。さあ、縄文デザインを取り入れて、自分だけのオリジナルストラップを作しましょう！

材料 オープンねん土・ピン・ストラップ金具・鹿の角・ヒモ  
道具 竹ぐし・もよう付け道具・と石



## 一例：土面ストラップの作り方



### ① 顔（ねん土の板）をつくる

手に水をつけて、ねん土が耳たぶの柔らかさになるまでねります。ねったら 1.5cm ほどの丸い玉にします。

つぎに、ねん土の玉を手のひらの上ではさんで平らにします。直径 3cm までです。

※大きくするとストラップにとおらないよ！ストラップのわっかにとおる大きさにしよう。



つなぎ目を竹ぐしでおさえる

### ② 眉毛や鼻をつくる

粘土を細くして眉毛や鼻にします。ねん土に水を軽くつけて、①の板に乗せましょう。ねん土とねん土のつなぎ目は、水でぬらした竹ぐしでおさえるようにして、しっかりとくっつけましょう。



目をくりぬく

### ③ 目や口をつくる（ねん土をくりぬく）

水でぬらした竹ぐしで目の部分を少しずつくりぬきましょう。口は鹿の角を取り付けるヒモをとおすので、少し大きめにくりぬきましょう。

顔のもようは竹ぐしでかきましょう。

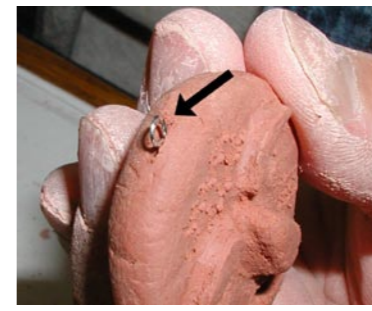
※いきなり竹ぐしをつきさすと、顔がわれたり形がくずれるので注意！

### ④ ピンをつける

ストラップ金具をつけるためのピンを、ねん土板のまん中あたりにさして、根元をふさぎます。



ピンを根元まで差し込んで



ねん土をよせてふさぎます



さあ、オープンへ



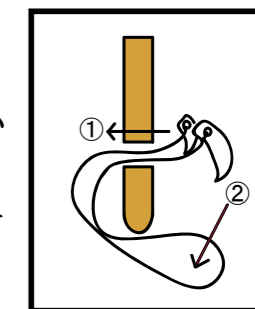
### ⑤ 鹿の角を削る

と石と鹿の角を水でぬらしながら、削りましょう。と石と鹿の角をたびたび水につけるのがポイントです。



### ⑥ 部品の取り付け

鹿の角の穴にヒモを通します。ヒモのはしはハサミで切りましょう。両はしに鹿の角を結んだら、焼きあがった顔の口<sup>むす</sup>にヒモをとおします。そしてピンにストラップ金具を取りつけて完成です。



ヒモのとおし方



できた！

